

令和2年度 第3回香芝市都市経営市民会議 議事要旨

- ◆開催日時 令和2年11月17日(火)午後2時～午後4時
- ◆開催場所 香芝市役所 本庁舎3階 第1会議室
- ◆出席者 中川会長、平越副会長、石原田委員、井上委員、植田委員、小川委員、沖本委員、
粕井委員、清水委員、縄田委員(計10名)
- ◆欠席者 萩原委員
- ◆事務局 企画部:堀本部長、遠藤理事
企画政策課:足立課長、宮崎主幹、吉谷主査、佐々木主任、浅田主事
- ◆議題 「第5次香芝市総合計画」策定について

議題について

①パブリックコメントの実施結果について…資料1

いただいたご意見及びご意見に対する香芝市の考え方について報告

<意見及び質疑>

特になし

②基本構想(案)への答申書について…資料4

答申書(案)について提示

<意見及び質疑>

異議なし

③今後の施策の方針について…資料3

◎政策1・政策2について

- :施策04「学校教育の充実」の主な取り組み①「学びの推進・支援」の指標に関して、「児童・生徒の ICT 活用を指導する能力」が学校側の自己評価であり、かつ、学校の合计数から判断したものとすると、指標として分かりづらい。学校間格差が問題になっているところでもあるが、それも見えてこないのでは。

→(事務局)総合計画では市全校の数値を示し、学校間の分析等は担当所管でさらに行っていきたい。

- :「児童・生徒のICT活用を指導する能力」という指標名が分かりにくい。

→(事務局)表記方法を検討します。

- :施策05「家庭・地域・学校の連携」に記載の学校地域パートナーシップ事業地域ボランティアの方に参加して判断していただくような評価の仕組みも考えられる。実際に、地域の人にも関わって

もらう等、何か自己評価以外の評価があるとより良い。

→(事務局)ご意見を担当所管にフィードバックします。

- :施策09「高齢者福祉の充実」、施策10「障がい者福祉の充実」に関して、災害があったときの避難経路の確保であったり、避難所が整っていることであったり、また要支援者に対する避難計画の策定であったり、そういった災害対策の充実という点も、暮らしていく上での“充実”につながると思う。施策20「災害対策の強化」に盛り込むべきものかもしれないが、“充実”という意味の中にそういった観点を含んで考えていただきたい。

→(事務局)基本的には、施策20「災害対策の強化」において方針を決定し、要支援者に対する避難計画の策定等、災害対策の詳細については、個別計画で示すものになると考えています。担当所管としても避難計画を策定すべきであるということ、地元の方と協力しなければならないということ等については認識しています。

- :総合計画は最上位計画、それをもとに中位計画、さらにそれをもとに下位計画が策定される。細かい内容については、中位計画または下位計画で示されるものになるということ。

- :総合計画では、12年間の目標値で計画を立てているが、他の計画の計画期間をみると4年間、5年間というものが存在する。両計画の連携は、うまく図れているのか。

→(事務局)第5次総合計画が市の最上位計画になりますが、既に策定された他の計画であれば、この総合計画の内容にそぐわない部分もあり得ます。今後、これら他の計画を更新する際には、第5次総合計画の内容に沿って修正をかけ、最終的には合致したものになります。

現在、総合計画以外に福祉分野等において策定を進めている計画があります。齟齬がないか確認しながら互いの策定作業を進めているところです。

- :施策07「医療提供体制の充実」の主な取り組み②「感染症対策の推進」について、新型コロナウイルス感染症についてはまた対策の途上にあるからあえて記載していないのか。

→(事務局)新型コロナウイルス感染症対策についてはまだ不確定な要素が多く、目標や指標の設定は现阶段では困難であると考えています。

- :新型コロナウイルス感染症について、具体的な指標は記載できないかもしれないが、何らかの文言を入れたほうがより現状に沿った計画になるのではないか。

- :今後の国や県の動向やワクチンの開発等が流動的である現状を鑑みたなかで、社会情勢に対応して、何らかの記載が必要ではないか。

→(事務局)新型コロナウイルス感染症対策の記述について、所管と調整します。

◎政策3・政策4・政策5について

- :施策17「商工業の振興」の実施する主な事業において、本市の地域ブランドであるKASHIBA+(カシバプラス)のPRに関する内容が追記されているが、前回の第2回都市経営市民会議の地

方創生推進交付金に係る効果検証のなかでも、KASHIBA+の認知度が低いという意見がでていた。現段階で、具体的なPR方法についての検討は行っているか。

→(事務局)市外に向けてのPR方法の1つとして、朝市実行委員会で扱っているKASHIBA+(カシバプラス)認定品3点を1セットにして、本市のふるさと納税返礼品に登録することを検討している。また、令和元年度にはJR大阪駅でシティプロモーションイベントを実施し、市外の方に向けた販売会等も行ったが、今後については、まず市内での認知度の向上にも取り組む必要があると考えている。

- :施策13「地域コミュニティの醸成」の主な取り組み①「自治会活動の支援」に関して、現在の制度の内容では、防犯カメラ・防犯灯等の設置に対しては補助金が交付されるが、維持管理費は交付対象となっていない。さらなる設置の促進を図るため、維持管理費を交付対象とすることは検討できるか。

→(事務局)担当部局に意見を伝えます。

- :施策17「商工業の振興」の主な取り組み①「企業の活性化」に関する指標「各種補助金申請件数」について、現状値7件から、R14では98件と飛躍的に伸びているが、累計値なのであれば、単年の目標設定にすべきではないか。

→(事務局)所管と再度協議する。

◎政策6・政策7について

- :施策32「情報とICTの利活用」の指標について、「SNSのフォロワー件数」は件数ではなくフォロワーの人数。また、施策33「行政組織の活性化・組織力の強化」において実施する主な事業「超過勤務時間数逡減推進事業」の概要について、「～、適宜、適切となる人員の配置を見直します。」ではなく「～、適切となるよう人員の配置を見直します。」がより適切と思われる。

→(事務局)適切な表現となるよう修正します。

- :施策28「上水道の基盤強化」の指標について、経常収支比率の注釈内容が不十分と思われる。一般会計の考え方ではなく、企業会計における比率というような説明が必要。

→(事務局)所管と調整し、注釈の内容をわかりやすく修正します。

- :施策32「情報とICTの利活用」の指標について、AIチャットボットがどういったものなのか、補足説明が必要と思われる。

→(事務局)注釈を付ける等対応します。

その他について

連絡事項を伝達

以上